

きこえとことばのチェックリスト



このチェックリストは、お子様について、

- ① 正しい発音で話せているか
- ② 吃音のために話しにくくなっていないか
- ③ 聞こえにくくて学習や生活で困っていないか

をチェックするためのものです。

- ① 日本語の発音は、一般的には、就学までに全ての音を自然と言えるようになることが多いです。就学後に発音できない・しにくい音がある場合は、スムーズな学校生活のために、早い段階で発音指導を受けることが望めます。
- ② 吃音は、年齢が上がるにつれて「恥ずかしい・自信をなくす」などの二次的な問題につながる場合があります。必要な時にはなめらかに話せるようになり、自信をもって生活できるよう早い段階からの指導が望めます。
- ③ 聞こえにくさ(難聴)があると、新しいことばの獲得や学習に遅れが生じることがあります。また生活の中で、周囲の理解を得られないためにトラブルが生じる恐れがあります。

「きこえとことばの教室」では、週に1～2時間の指導により、上記のような困難を改善していきます。

以下の項目について、チェックしてみましょう。

チェック項目	どちらかに○	
ことばについて ①例のように、発音に誤りがあるものがある。 次のことばのうち、誤った発音をしているのはどれですか。 ()きりん → チリン ()じゃんけん → ジャンチェン、ジャンテン、ギャンケン ()がっこう → ダットー ()せんせい → テンテー、チェンチエー、シエンシエー、ヘンハー ()ぞう → ドー、ジョー、ゴー ()つくえ → チュクエ、ククエ ()ごはん → ゴアン、ゴワン、ドハン ()たいこ → タイト、カイク ()いちご → イキゴ、イチド	ある	ない
②イ段の音が続くことばが言いにくく、どちらかの口角を引くことがある。 例: キリギリス、チキュウ、シリトリ、シャシン等のことばが不明瞭になる。	ある	ない

③話し声が鼻にかかったような音になっている。	ある	ない
④話しことば全体がはっきりしなくて聞き取りにくい。	ある	ない
⑤言い始めの音を繰り返したり、のばしたり、つまったりしてことばが出にくいことがある。 例:「そそそそれでね、」「そーれでね、」「そっ……………それでね」	ある	ない
きこえについて ①聞き返しや聞き逃しが多かったり、的外れな答えをしたりする。 ②テレビを大きな音にしていることが多い。 ③呼んでもなかなか振り向かない。	ある	ない
新座市「きこえとことばの教室」に関心がありますか。 指導を受けたい場合は、園や学校の担任の先生に連絡して、手続きを進めてください。	ある	ない
※その他 きこえやことばについて、他に気にかかる点がありましたらメモしましょう。		

※この用紙を学校に提出する必要はありません。

**** きこえとことばの教室は、こんなところ です ****

- 新座市のきこえとことばの教室設置校は八石(はちこく)小学校と新開小学校です。
- 発音に誤りのある児童、吃音がある児童、聞こえにくい児童が対象です。
- 基本的には自分の学校、学級で授業を受け、週に1回、決まった曜日と時間に「きこえとことばの教室」で1～2時間の授業を受けます。
- その間、在籍校を遅刻・早退したことにはなりません。
- 一人一人の課題に応じた個別指導が中心です。内容によっては、ペアまたはグループ指導を行うこともあります。
- 年度の途中でも、指導を開始したり終了したりできます。
- 設置校以外の学校から通う場合は、保護者(原則)に送迎していただきます。

